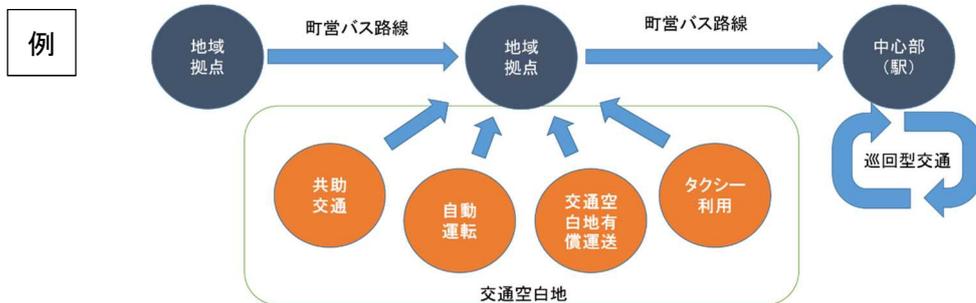


## 1 研究プロジェクトの実施

- ・令和元年度～2年度の2年間で、人口密度が低い地域（鳥取県）における新たな交通の仕組みを検討する研究プロジェクトの公募（トヨタモビリティ基金を活用）が行われ、琴浦町と日南町が事業協力することになりました。
- ・プロジェクト実施主体  
中央大学研究開発機構 秋山教授 を中心とした研究チーム
- ・プロジェクト対象地区  
安田地区（8部落、337戸）

## 2 プロジェクト内容

- ・令和元年6月～9月 現地調査（住民インタビュー）を実施、地域ニーズの把握  
10月～ 調査結果の分析  
ライドシェア（共助交通）など地域の実態に合った新たな交通モデルを検討
- ・令和2年4月以降 安田地区での交通モデルの構築、導入試験  
町営バス、タクシー利用のほか新たな公共交通の仕組みを検討し、  
地域の実態に即した持続可能な公共交通の仕組みが必要



## 3 地域交通の課題解決に期待

- ・高齢者などの交通弱者の移動手段の確保
- ・ドライバー不足によるバス路線存続の危機、タクシー事業の縮小
- ・町営バスの乗車率、収支率の低さ

## 4 住民インタビュー調査

- ・6月から9月にかけて笠津、向原、尾張、下市、坂ノ上、湯坂、梅田、光の公民館にて安田地区世帯数の5割以上を目標に聞き取り調査を実施
- ・調査内容  
性別・年齢・職業・家族構成について  
健康の状況・免許の有無・外出の状況について  
移動に関する地域での助け合いについて
- ・住民インタビュー調査の結果は、地域住民の移動実態及びニーズ把握の基礎資料として現在進めている琴浦町公共交通再編計画に反映させます。